

菅 直人 内閣総理大臣表敬訪問

7月28日（水）午後3時に、筒井大和会長、小宮良雄副会長、鈴木一永副会長、古谷史旺政治連盟会長が総理官邸に赴き、菅直人内閣総理大臣を表敬訪問しました。

冒頭、筒井会長から、7月1日に開催された弁理士の日記念祝賀会へ総理メッセージを頂戴したことへのお礼を申し上げた後に、最近の日本における特許出願件数の状況と中国・韓国等における出願状況を説明し、国力を現し研究開発力・技術開発力のバロメーターでもある特許出願件数が、日本では減少傾向にあることへの強い懸念を申し上げました。また、古谷政治連盟会長から、国際標準化、研究開発、技術開発の重要性等に言及された政府の新成長戦略の実現に期待する旨を申し上げました。

菅総理からは、「過去20年間にわたって低迷し続けている日本の経済を、早期に復活させなければならない。そのための重要な政策として、特にアジアとの関係強化、グリーン・イノベーションによる環境・エネルギー分野、ライフ・イノベーションによる医療・介護等の分野を中心とする研究開発推進が挙げられ、日本の得意とする最先端技術をドンドン生み出し、日本の国際競争力を一層強化しなければならない。政府は新成長戦略に全力で取り組んでいく。」といった主旨のお言葉をいただきました。

最後に、筒井会長から、菅総理の掲げておられる政策の中で、科学技術立国政策の実現を日本の将来のために是非強く進めて頂きたいこと、我々弁理士はそれを知的財産の面からフォローしていく所存であることを申し上げました。

（なお、菅総理、筒井会長、小宮副会長、鈴木副会長、古谷政治連盟会長は、全員弁理士として旧知の間柄であり、15分程度の懇談ではありましたが、友人同士の会話のように和やかな雰囲気で行なわれました。）

